



荻間澤先生を迎えて夏の学習会 in 長野

恒例となった日本GWT協会“夏の学習会”が7月22日（日）長野県小諸市で開催されました。初めての試みとして、講師に会津大学教授荻間澤勇人先生（学校心理士）をお迎えし、「GWTとアンケートQU」と題して特別講義をいただきました。先生は、いじめ・不登校を生まない学級づくりには、4月の学校における初期適応が重要であると前置きされ、「教師が行う『観察・面接』等による生徒のとらえ方は指導者の主観に頼りがち」として、生徒の「学級適応・意欲」などを測る客観的なデータを示す尺度としての調査法「QU」を紹介されました。その上で、「重要なのはQUで得た客観的データを学級づくりに生かすことであり、そこにGWTを活用することの効果を実感している」と、心強いメッセージをいただきました。

参加者は直接QUを体験しながら、「満足群・不満足群」など図示されたデータの概説を受け「指導と援助をバランスよく進めるスキルを身につけることで、学級は満足群の方向に進みます。」と話される先生の言葉に、身近な集団における自身（アドバイザー）のあり方に重ねて、改めてGWTの日常化という課題に向き合っていました。GWT協会としても、新たな課題・目標をいただいた学習会となりました。（犬飼）



全国レクリエーション大会 in 高知でGWT実施

9月21日から高知県で開催された第72回全国レクリエーション大会の研究フォーラムセッションの中でGWTを紹介しました。今回は「今、子どもたちに体験してほしいGWT」と副題を掲げ、学校やスポーツ



クラブなど子どもを対象としたGWTに視点を絞り、「協力の良さに気づく」財の体験を通して、GWTの魅力を実感していただくことをねらいとしました。紹介した財は、新財の「動物しりとり」です。情報カードを手掛かりにしりとりを完成します。当日の参加者は28名で、4～5人のグループで体験していただき、ほとんどのグループが時間内にしりとりを完成させることができました。参加者からは「楽しく協力できた」、「ふりかえりがしっかりできてよい」、「もっとGWTを体験してみたい」と好評でした。「動物しりとり」は、研究誌で紹介します。（木村真介）

大好評だった GWTづくしの特別セミナー

5月26日、千葉縣市川市内で、「関係力を磨こう!!」をテーマに、GWTフォローアップ研修を開催しました。

北は北海道・南は鹿児島から1日講習会に駆けつけてくださった19名の受講生達。各界で大活躍のベテランの皆様から、セミナーの期待値の高さと終了後の高評価をいただき全員が大満足の内に終了いたしました。

参加者中最年少でキャリアも浅く、学び合う他のメンバーが全員初対面でGWT初体験の参加者も、年上のキャリア組に囲まれながらも直ぐに馴染んで場の空気に溶け込んでいました。

流石に最初は誰もが緊張の面持ちになるものですが、「人馴れ・話慣れ・出会い慣れ」が出来るGWT財の魅力とラボラトリーメソッドの学びの場を通したトレーニングによって、未経験値を補い、人との向き合い方や繋ぎ方をマスターされたようです。

今回の研修効果を鑑みて、GWTの体験学習やふりかえり&気づきの交換が「人育て&自分育て」に少しでもお役に立てれば幸いです。

「このような学びの場を少しでも多く提供してもらいたい!!」という皆様の御要望に応え12月8日(土)に学び舎のチャンスをPartⅡとして御提供出来ることが決定いたしました。(パンフレット参照)

★**望年会** を含めて、今年のふりかえりをいたしましょう!! 文責：講師 三好良子

支部からのたより



福井支部 会員増を求めて ◆代表 大久保郁子◆

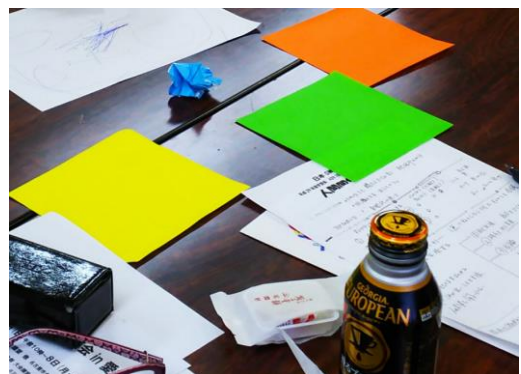
福井GWT研究会を改め、福井支部が誕生して一年が過ぎました。

私のGWTとの出会いは、レクリエーション指導者として活動を始めた30年前になり、GWTに出会った当初、学習からの気づきの深さに驚き、この学習方法を地域活動関係者の方々に伝えて、ボランティア活動での人間関係をより良いものにしようとGWT普及活動に努めました。10数年前には福井GWT研究会を結成し、仲間と共にGWTに関わってきました。

ここ数年、発信力が弱まり今後の活動方法を模索していた時、“支部”の話が持ち上がりました。結成後毎月一回学習会を開催してきましたが、記念講座40名の参加者からの継続者がなく、毎回参加者は以前の会員のみのため、活動内容に目標を失いかけてしまいました。

数名で活動していた私たちにとって大きな問題点は、結成後の細かなシナリオができていなかったことです。新メンバーを増やす前に一番大切なことは、会員一人ひとりのスキルアップを目指すことが重要と考え、参加人数にとらわれることなく、関係学の本を手元に学習会が再スタートしました。

私達は、「学習することをやめては、向上しない!」、「発信することをやめては、仲間は増えない!」を目標に、活動を進めていきたいと思えます。



ひと
他人との関わりをエンジョイしていますか？

じんかん
人間をデザインしていますか？

グループワーク・トレーニング
G W T を活かしていますか？

じた
自他の新・再発見をしていますか？

ホスピタリティ溢れた仕事をしていますか？

ポジティブ
今日も愉快に生きていますか？

「関係力を磨こう!!」 Part II



グループワーク・トレーニング

G W T づくし特別セミナー

前回大好評につき、愉快的仲間達からのリクエストにもお応えして特別セミナーを開催いたします。
「関係力を磨く本」「副読本「燦々」」をテキストにして「対人関係・コミュニケーション・ホスピタリティ・協働能力」を体験学習いたしましょう!! GWT を初体験したい方、ブラッシュアップの学び舎を希望する方、どなたでもお誘いあわせの上、多くの皆様の御参加をお待ちしております!!



講師：三好 良子

人材育成コンサルタント・日本GWT協会理事長
産業能率大学総合研究所・日鉄住金総研(株) 講師

■日時：H30.12月8日(土)9時30分～17時

■場所：サンシティ市川 [5階C会議室]

山崎製パン企業年金基金会館

<http://www.yamazakipan-nenkinkaikan.jp/>

お茶の水駅から総武線で市川駅まで20分。市川駅から徒歩約2分

■費用：協会会員(学生)15000円・一般20000円+テキスト代

■定員：先着15名様 (最低履行人数8名)

■申込み〆切：11/30(金) 氏名・連絡先(〒・住所・TEL・パソコン mail・携帯番号・携帯 mail)・所属・領収書の有(宛先)無・望年会参加の有無・テキスト「関係力を磨く本」(1800円)&「燦々」(1000円)の有無。以上全てを上記三好パソコンメール迄お知らせください。“出会い・気づき合い・学び合い”を楽しみにしています!!

お問い合わせ&申込先：三好まで
miyoenjoy@jcom.zaq.ne.jp

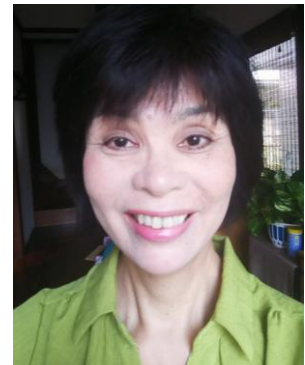
当日緊急連絡先：090-1801-1814
ryoko.miyoshi.enjoy@ezweb.ne.jp

<http://日本グループワークトレーニング協会.com>

わたしとGWT

川島裕子さん

GWTに出会ったのは2007年、横浜市レクリエーションスクールでGWT講習を受けたのが初めてです。GWTのワークとしてのレクリエーション財には、ねらいへ導く要因がありしかもそれを項目ごとに分類していることに興味がわき、当初は財を学んで、レクリエーション現場で活用したい、更にはオリジナル財も作ってみたいと思っていました。



そのような動機から始まったGWTですが、最初の気づきは衝撃でした。体験学習、ふりかえり、わかちあいで気づきが学びというもの“今ここ”での気づきが過去の出来事と合点し、ああそうだったのか！と理解できた時、誤解、思い込み、至らなかった自分への心の痛みは苦しいほどでした。しかし気づくことは自分の心を乗り越えるようです。徐々に穏やかな心持ちになり、明日の力になりました。

いくつになってもより良い方向へ自己変容できるのだと教えてもらいました。私的には学んで変化はあるかという、話の進みが早くなり、アイデアが採用される確率が高くなりました。巻き込み方がかなり上手くなりました。関わり方でグループの方向性が変わったこともあります。やはり関係力がじわじわとついてきているのでしょう。

“今ここ”でを大切にGWTは今をハッピーに変えていると改めて気づきました。今後もGWT愛好者（周りをハッピーに変えるさりげないキーマン）がますます増えていくことを期待しています。

★上級審査会の案内

上級審査会にチャレンジできる方には、このニュースに同封して、ご案内を差し上げています。

初級アドバイザー取得後、上級アドバイザー養成講習会A・Bを各1回以上受講し、「日本GWT全国研修交流会」に参加している方が審査会にエントリーできます。

上級審査会は、全国研修交流会にあわせて開催されます。今回は、研修交流会の前日の1月12日に開催の予定です。

ご案内に漏れのないようにはしていますが、研修会などでの学習を終え、エントリーを希望される方は、事務局長までお問い合わせください。

なお、上級審査会の際の模擬受講者も募集します。無料で貴重な勉強ができます。上級審査を今後希望する方は、傾向と対策の場にもなります。

●問い合わせ 事務局長 犬飼己紀子

TEL・FAX 0263-47-1335

E-mail mikiko.inukai@matsu.ac.jp

★GWT研究投稿の案内

日ごろの成果を、私たちの研究誌「GWT研究」の「研究レポート」、「新財紹介」に投稿しませんか。記録物を作ること自体が自己のスキルアップになります。ぜひチャレンジしてください。

締め切りは、11月30日です。

(原稿は、A4サイズ 43文字×40行です)

●問い合わせ 理事(研究誌担当)の木村真介まで。

TEL 090-2801-0615

E-mail kimura-shinsuke@masuda-school.ed.jp

